

姫路駅南駅前広場 計画平面図（案）及び整備イメージ図の公表と

パブリックコメントの実施について（概略版）

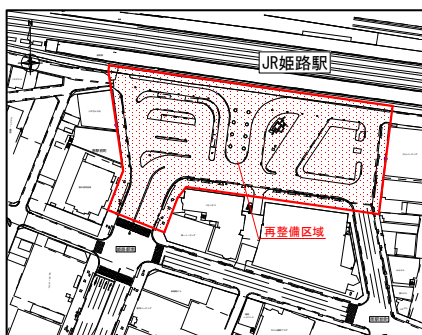
姫路駅南駅前広場の再整備にあたり、計画平面図及び整備イメージ図を作成しました。南駅前広場をより良いものにするため、計画平面図及び整備イメージ図に対して、市民の皆様のご意見を募集します。

1. 概要

JR姫路駅は姫路のみならず播磨地域の玄関口として、1日あたり約9.2万人が利用するターミナル駅です。駅の北側は姫路城をはじめ商業施設等が立地し、商業・観光を中心とした土地利用が図られている一方、南側はビジネス街や行政施設、またその先には住宅地や臨海部の工業地帯があり、産業・住宅を中心とした土地利用となっています。

姫路駅南駅前広場は山陽新幹線の開業にあわせ昭和47年に完成し、その後部分的な改修は行われてきたものの、完成後44年が経過し、社会情勢や利用状況の変化により交通混雑をはじめとする様々な問題点が発生しています。

そこで安全な歩行者動線の確保や交通混雑の解消による一般車両の利便性向上など、だれもが快適に利用でき、また播磨地域の玄関口としてふさわしい駅前広場とすべく再整備を行うものです。



南駅前広場現況（西方より）



南駅前広場現況（東方より）

2. 関連上位計画との関係

「姫路市都市計画マスタープラン」は、土地利用や市街地形成等について具体的な将来像を定め、施設整備の中長期的な取り組みの方向を明らかにするものです。

その中でJR姫路駅周辺は、過度の自動車の流入を抑制し、交通結節機能の強化や歩行者優先の道路空間の整備を進めるとともに、都心部の回遊性の向上を進めるとしています。また姫路駅南駅前広場の整備を推進し、バリアフリー化、駐車場や駐輪場の適正配置等による交通結節機能の強化を図るとしています。

「姫路市総合交通計画」は、姫路市特有の交通の現状や課題を踏まえ、本市のまちづくりの将来像実現に向けた交通のあり方を示すものです。長期的な人口減少や厳しい行政状況に対応し、自然との共生を図りながら、交通の円滑化や公共交通の活性化を実現するため、クルマ中心の交通体系から環境や人に優しい公共交通中心の交通体系への移行をめざし策定されました。

その中で、JR姫路駅を中心とした内々環状道路網内は「徒歩と公共交通を中心としたまちづくり」をめざしています。また、姫路駅南駅前広場は公共交通や一般車など交通結節機能を強化するために再整備を進めるとともに、安全な歩行者動線の確保や通過交通の抑制を掲げています。

「姫路駅周辺整備事業（キャストィ21）」とは、姫路駅周辺地区の鉄道高架化事業や関連道路事業、土地区画整理事業による都市基盤整備を一体的に行うことにより、新たに発生する鉄道跡地を活用し、中核都市としてふさわしい、にぎわいとるおいにあふれた都心の形成をめざすまちづくり計画です。

姫路駅周辺では鉄道で分断されていた都市空間が鉄道高架化事業により南北を平面で結ぶことが可能となり、地上部での行き来が可能となりました。



3. 姫路駅南駅前広場の問題点

姫路駅南駅前広場は姫路の南の玄関口であり交通の拠点となっていますが、次のような問題があります。

① 一般車と公共交通の混在により交通混雑が発生しています。

一般車乗降場とタクシー乗降場が混在していることや動線が複雑であるため、広場内で交通混雑が発生し、姫路の南の玄関口としての魅力に欠けています。

② 駅前広場へ進入する車両の約7割が通過交通です。

駅前広場を通る車両を調査したところ、広場内に進入する一般車両の約7割が広場に用事のない通過車両であることがわかりました。

③ 一般車スペースが不足しています。

一般車スペースが不足しており、広場で乗降できない一般車が車道上や周辺道路で乗降しています。



4. 再整備計画の考え方

このような問題点や市政モニターアンケートの結果※1を踏まえ、再整備における空間デザインの考え方を次のように定めます。

① 交通機能の乗換え利便性を向上させます。

通過交通を排除し、一般車や公共交通の使いやすさを向上させるとともに、わかりやすい施設配置や効果的なサインによる誘導で、交通機能の乗換え利便性を向上させます。

② 安全で快適な歩行者空間を創出します。

歩きやすく居心地の良い歩行者空間を創出するとともに、見通しよく開放的な空間とすることにより安全で快適な歩行者空間を創出します。

③ 南の玄関口としてふさわしい空間を創出します。

利用者が集まり留まる日常生活の舞台となるような環境空間や豊かな緑陰による憩い空間を創出することにより、姫路の南の玄関口として、シンボル景観にふさわしい空間を創出します。

5. 計画平面図及び整備イメージ図

(1) 配置計画のポイント

① 駅正面に安全かつゆとりある歩行者空間を創出します。

現在は歩行者空間が西にずれており、中央コンコースを出ると送迎のために停車する自動車が目に入りますが、姫路の南の玄関口としてふさわしい歩行者のための美しい広場空間をつくります。また現在は信号機が設置された横断歩道によって広場内の歩行者空間が分断されていますが、自動車による分断をなくすことにより快適に南へと移動することが可能となります。

② 公共交通と一般車を完全分離することにより、交通混雑を解消します。

公共交通と一般車を分離し、西に公共交通、東に一般車を集約することにより、通過交通の排除が可能となり交通混雑を解消します。またバス、タクシー、一般車、歩行者のいずれにとっても便利な動線を確保します。

③ 一般車スペースを増設します。

一般車乗降場や一般車駐車場を増設することにより、一般車にも配慮した快適な駅前広場を創出します。これは広場内に占める道路空間を減らし、歩道や駐停車空間へと転換することにより可能となります。また、短時間の迎車には20分間無料の一般車駐車場で『お迎え』を推進していきます。

姫路駅南駅前広場 計画平面図(案)

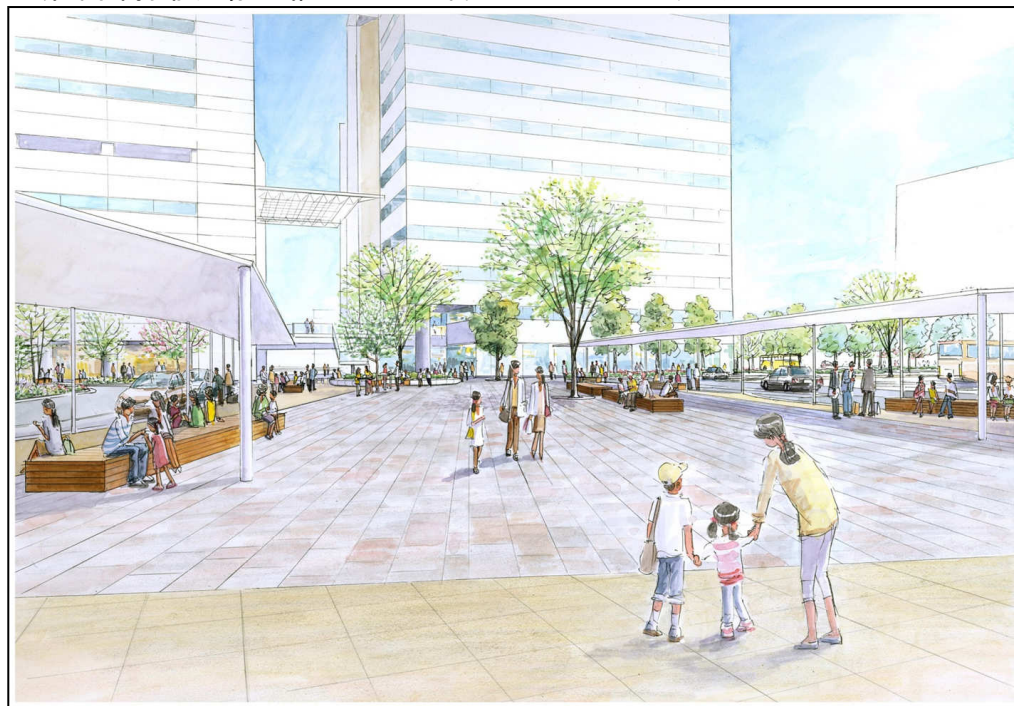


姫路駅南駅前広場 整備イメージ図

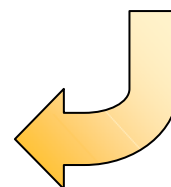


※整備後のイメージ図であり、
施設の詳細については H28 年度の実施設計により決定します。

姫路駅南駅前広場 整備イメージ図(中央コンコースからの眺め)



現在の
中央コンコースからの眺め



※整備後のイメージ図であり、
施設の詳細については H28 年度の実施設により決定します。

(2) 施設内容 (施設の規模)

施設	再整備(案)		参考 現状
	規模	備考	
一般車乗降場	20台程度	身障者用乗降場1台含む	10台
一般車駐車場	53台程度	身障者用駐車場2台含む 現状どおり 20分まで無料	36台
タクシー乗降場	5台		4台
タクシー待機場	20台程度	25台分は高架下へ	42台
路線バス乗降場	2台		3台
路線バス降車場	1台		1台
路線バス待機場	4台		4台
高速バス乗降場	6台		6台

6. 今後の予定

- 平成28年度 実施設計 (市民の皆様のご意見を参考に施設の詳細やデザイン等を決定します。)
- 平成29年度 工事着手
- 平成30年度 工事完了

7. パブリックコメントの募集

(1) 期間 平成28年4月25日(月) から 平成28年5月24日(火) まで

(2) お問い合わせ 姫路市 姫路駅周辺整備室

Tel : 221-2590 Fax : 221-2557

Email : ekishuhen@city.himeji.hyogo.jp

※1 市政モニターアンケート(平成26年7月10日~7月24日実施)

「広場内に進入する通過交通の抑制」についてお聞きしたところ、「賛成・どちらかといえば賛成」が81.7%となりました。

「通過交通を抑制するために広場内を東西のロータリーに分ける」ことについてお聞きしたところ、「良い・どちらかといえば良い」が77.4%となりました。